



積極的に生きがいを求めて学習 ～ 母親学級との交流会で

率浦大学は、昭和四十四年に開設されました。総長は町長、学長は教育長が務めます。入学式と卒業式は率浦大学院と合同で行われ、開講は年九回。講義を主体に実技、研修、スポーツと広範囲にわたって学習計画が組まれています。

昨年度(五十九年度)までの卒業生は千二百二人。卒業生のほとんどは率浦大学院に進学し、さらに一年間学習を続けます。

六十歳以上の皆さんが、その年齢にふさわしい社会的能力を高めながら、積極的に生きがいを求めて学習する「率浦大学」と「率浦大学院」。「率浦」とは、遠く平安の昔、中央政府と蝦夷との戦乱が収まりかけたころ、本町一帯を示した地名「率浦郷」からとったもの。

率浦大学

町の生涯教育

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100(代)

印刷／湖東印刷所

川をきれいに



広々野橋下流

（広報紙中にある写真を欲しい方には）
お問い合わせします

交通の確保に努める

除雪路線

総延長

95・6キロ

町では二月七日正午、役場内に「五城目町雪害対策本部」を設置し、積雪による被害の防止などに全力をあげて取り組んでいます。

特に、交通の確保を最優先事項とし、道路の除排雪に努めています。町が除雪する道路は三百十二路線で、その総延長は九五・六キロにも及びます。今年度から配備された大型ロータリー車をはじめブルドーザー、グレーダーなど十台の除雪車をフル回転させて除排雪にあたっています。

また、町の除雪車で回りにきれいな路線については、町内の建設業者などに除雪作業を委託しているほか、除雪車の入れない路地の除雪や、道路わきの排雪などは、町内の皆さんが行ってくれました。



下夕町通りの排雪作業に威力を発揮する大型ロータリー車



町内会の皆さん総出で排雪（2月23日の全町除雪デー・畑町町内会）



歩道の除雪は小型のロータリー車が活躍

てんぐ巣病 冬の間に防除を



てんぐ巣病の枝を切り落す

町内で「てんぐ巣病」にかかった樹木（主に桜）が多く見られます。てんぐ巣病の防除の時期は冬期間ですので、健全な樹木をつくるために防除に努めてください。

防除するには……

てんぐ巣病にかかるのと枝の一部がこぶ状に肥大し、ここから多数の小枝がぼうき状に出ますので、冬の間に、こぶ状の部分の下から病気の枝を切り落してください。桜は切り口から腐朽しやすいので、太い枝を切り落した場合は、

切り口にペンキや石灰乳（トプジンM）などを塗ってください。

切り取った枝は焼却してください。個人で焼却できない場合は、清掃センターに搬入しますと無料で処分できますので、係員に申し出てください。

個人所有以外は町で

町で管理している樹木で、てんぐ巣病にかかった樹木を見かけましたら、役場林政課（☎52-2100）へお知らせください。

国税だより

申告と納税は
3月15日までに

昭和六十年分の所得税の申告と納税はもうお済みでしょうか。

申告をしなければならぬ人が申告しなかったり、間違った申告をしますと、後で不足の税金を納めるだけでなく、加算税や延滞税も納めなければならぬことになります。

所得税の申告と納税は、必ず三月十五日までに済ませてください。また、三月十五日は土曜日のため、税務署の業務は午前中だけとなりますので注意してください。

税金のご相談は秋田北税務署（☎45-1161）へ。

道路の除雪に感謝

貝田金市(畑町)



私の店は、牛乳販売を業としており、私は毎朝五時に牛乳配達のために店を出ます。

配達先は、本町部のほか岡本、富津内、湯ノ又方面で、午後の二時ころまで町内を車で走り回ります。

毎日、牛乳を配達して感じてくことは、町内の道

路の除雪が大変よく行われているということ。各家庭に牛乳を配達しなければならぬので、狭い道も車で走るわけですが、早朝にもかかわらずどの道路も除雪されています。

また、その日配達する牛乳は、朝の四時半ころ秋田市から私の店に届けられますが、その運転手も五城目町は早朝でも除雪が済んでおり、しかもいい感じです。と感心しておりました。

私も商売が他町の道路も毎日通りますが、本町の場合は、本日に除雪が行き届いており、大変感謝しております。



町道の除雪を行うグレーダー (石崎付近)



上町通りは町内の皆さんが流雪溝を使って排雪

流雪溝のおかげで
上町通りは広々

永井慶子(川原町)



流雪溝に青旗(稼働を知らせる旗)が立つ日の多いこの冬、八時半になると家事を中断して外に出るのが日課になりました。

「おはようございます。また降ったシナ」と、近所のおばさんたちは、もう除

雪に精を出しています。

流雪溝の中の水は勢よく流れ、捨てた雪をどんどん運んでくれます。指定された三十分間は、あつという間に過ぎ、きれいに片付いた道路に気分もすっきりします。日曜日には、老若男女にぎやかに作業をしながら、会話をかわすこともできます。

流雪溝のおかげで、上町通りは広々としており、人も車も安心です。このような道路を増やし「克雪の町五城目」にしたいものです。



山間部の除雪はブルドーザーで(入通線)

農業委員会委員選挙人名簿登録人員

(昭和61.1.1現在)

	投票区名	登録人員		計
		男	女	
第一選挙区	富津内第一投票区	359	399	758
	富津内第二投票区	214	234	448
	内川第一投票区	263	295	558
	内川第二投票区	163	176	339
	計	999	1,104	2,103
第二選挙区	五城目第一投票区	198	212	410
	五城目第二投票区	332	412	744
	馬場目第一投票区	468	520	988
	馬場目第二投票区	189	205	394
	計	1,187	1,349	2,536
第三選挙区	大川第一投票区	249	287	536
	大川第二投票区	217	241	458
	森山投票区	249	282	531
	計	715	810	1,525
合計		2,901	3,263	6,164

縦覧

農業委員会委員

選挙人名簿

固定資産

課税台帳

昭和六十一年度五城目町農業委員会委員選挙人名簿の縦覧を行っています。

▽縦覧期間 二月二十三日から十五日間

▽縦覧場所 役場選挙管理委員会事務室

▽縦覧時間 午前八時半～午後五時

▽縦覧時間 午前八時半～午後五時(土曜日の午後と日曜日、祝祭日を除く)

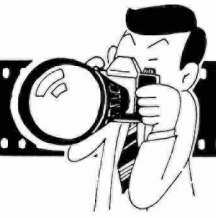
昭和六十一年度固定資産課税台帳の縦覧を行っています。

▽縦覧期間 三月一日～三月二十日

▽縦覧場所 役場税務課

▽縦覧時間 午前八時半～午後五時(土曜日の午後と日曜日、祝祭日を除く)

カメラレポート



全校児童で「冬の集い」

五城目小学校

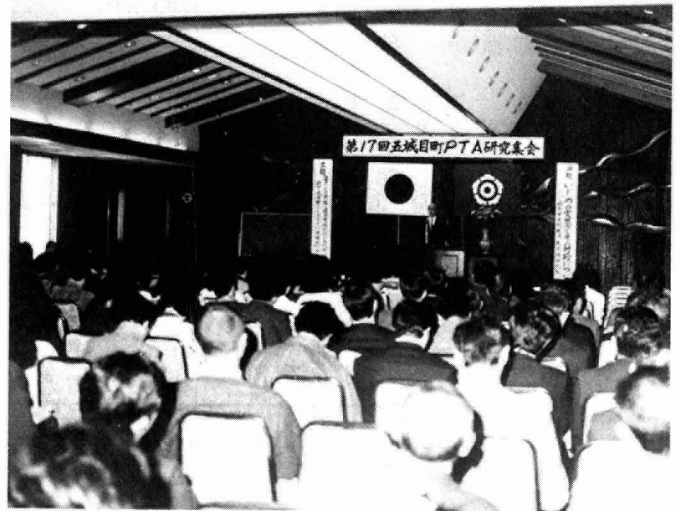
五城目小学校で、2月15日に「冬の集い」が開かれ、8班に分かれた全校児童が、雪像作りや雪合戦、サッカー、福笑いなどを楽しみました。

この集いは、五城目小学校児童会の後期事業として行われたもので、今回が初めての試み。全校児童が学年に関係なく約90人ずつ8班に分かれ、班ごとに企画から実行まで子供たちの話し合いによって進められました。

時間は2校時と3校時があてられましたが、事前の打合せや準備は放課後なども行われました。



グラウンドには子供たちによって雪像が作られました



PTA会員など約150人が参加

「いじめ」について意見交換

PTA研究集会

第17回五城目町PTA研究集会が、1月26日午前9時半から町民センターで、町内の保育園（所）、幼稚園児の保護者、小中学校のPTA会員など約150人が参加して開かれました。

今回は、映画「いじめっことあばれんぼう」を鑑賞、この映画をもとに社会問題化している「いじめ」について意見を交換しました。

また、秋田市城南中学校の熊井鉦治先生が「いじめ」の実態とその対応について講演しました。

お知らせ

業者登録

申請は3月末までに

町が発注する物品の製造請負、買入、修繕、改造、および売払の業者登録を希望する方は、次の事項に留意して申請書を役場に提出してください。

業者登録申請書と営業経歴書の用紙は、役場庶務課にあります。

▽提出期限 三月三十一日
▽提出、問い合わせ先 役場庶務課

(☎52-2100)

▽提出書類

①業者登録申請書

②登記簿謄本または戸籍謄本

③印鑑証明書

④納税証明書

⑤営業経歴書

▽資格者の決定基準

①信用確実な業者であり、営業内容が確実かつ優秀な業者であること

②現に税を滞納していない業者で過去三年間、各納期内に完納されていること

▽資格の有効期間
四月一日から二年間



建築物防災週間
3月7日～13日

全町バドミントン大会 参加者を募集

五城目町バドミントン協会では、全町バドミントン大会への参加者を募集しています。内容は次のとおりです。
▽日時 三月二十一日（金）
午前十時～
▽場所 広域体育館
▽申し込み先 五城目町公民館 目黒まで
☎52-4415（当日、会場でも受け付けます）
▽参加資格 どなたでも参加できます
▽参加料 五百円
▽種目 初心者部、一般男子部、一般女子部、壮年の部（三十歳以上）
▽試合方法 トーナメント制
▽表彰 各部門三位まで
※ラケットのある方は持参してください。

秋田東高校通信制課程 入校生を募集

県立秋田東高校では通信制課程の入校生を募集しています。通信制課程は自宅学習が主体となっており、修業年限は四年以上。県内在住者であればだれでも入学できます。
▽募集期間 三月一日～四月三日
▽募集人員 三百人
▽問い合わせ先 県立秋田東高等学校通信制課程 ☎34-0473

高松宮杯レスリング大会

五高、準決勝で惜敗

第二十四回高松宮杯東北高校選抜レスリング大会は、二月八日、九日、広域体育館で、町や東北高等学校体育連盟などの主催で開かれました。同大会は昨年から全国高校選抜レスリング大会東北ブロック選考会を兼ねて行われており、東北各県から十四校が参加しました。

本県からは、五城目高校をはじめ秋田商業高校、経法大付属高校が参加。地元五城目高校は準決勝で青森県の八戸

工業高校と対戦。60キロ級まで3対1とリードしながら、65キロ級、70キロ級、70キロ超級とあいついでフォール負けし、決勝進出はなりませんでした。

優勝は青森県の光星学院高校。光星学院は圧倒的な強さで四年連続五度目の栄冠に輝きました。

また、三月に新潟県で開かれる全国選抜大会には、光星学院、秋田商業、宮古水産、山形商業の四校が出場することになりました。

五城目高校は、ともに準決勝まで勝ち進んだ秋田商業高校との本県代表決定戦に2対5で敗れ、全国選抜大会出場はなりません。



五城目高校の工藤主将が選手宣誓

大会結果は次のとおり。

▽一回戦

経法大付5-1 山形商

(秋田) (山形)

▽二回戦

五城目 6-1 青森

(秋田) (青森)

▽準決勝

光星学院6-1 秋田商

八戸工 4-3 五城目

▽決勝

光星学院7-0 八戸工



吹雪を気にせず相撲をとる子供たち

吹雪の中で元気いっぱい

第9回子どもの雪まつり

第9回子どもの雪まつりは、2月16日、恋地スキー場で開かれ、吹雪の中でも子供たちは元気いっぱい相撲やモチツキなどを楽しんでいました。

当日は朝からふぶくあいにくの天気となり、開会式は1時間ほど遅れ、町長のあいさつは恋地山荘の放送設備を利用して会場に放送されました。また、予定されたいろいろな催しも全部終了することができませんでした。それでもモチツキはテントの中で楽しみましたし、相撲やスノーチューブでのボビー大会などは吹雪の中で行われました。

表彰

自治功労者に町長と伊藤主

加賀谷町長と町職員の伊藤敏雄主任(農村環境改善センター)が、自治功労者として秋田県町村会長から表彰されました。また、加賀谷町長は全国町村会からも自治功労者として表彰されました。

加賀谷町長は、町長在職六期。伊藤主任は、町職員として在職二十年。

秋田県町村会の表彰式と全国町村会表彰の伝達式は、二月二十日、県自治会館で行われ、加賀谷町長と伊藤主任に表彰状と記念品が贈られました。

秋田書道展・全国児童生徒作品コンクール県予選

秋田書道展と全国児童生徒

作品コンクール県予選に、五城目小学校から次の方々が入賞しました。(○内は学年。)

【秋田書道展】

▽半紙一等 栗山美樹(三)、村上裕子(五)▽同二等 おのしずか(二)、本間義尚(二)、

石井雅樹(五)、坂井三香(六)、松橋美穂(六)、佐藤環(六)

▽同三等 〓とがしみわ子(二)、しもさかさい子(二)、かわむらさおり(二)、三浦麻友美(二)、

小森隆司(三)、大原百合子(三)、羽場里美(三)、二方克昌(三)、

近江圭(三)、小玉伸(三)、永井順平(五)、児玉なお子(五)、

館岡和之(六)、高堂尚子(六)▽条幅一等 〓小野しずか(一)

▽同三等 〓坂井三香(六)▽同褒状 〓久保市豪(四)

【全国児童生徒作品コンクール県予選】

▽作文の部特選 〓大原百合子(三)▽同入選 〓羽場里美(三)、

今村わか(三)▽同全国的部特選 〓大原百合子(三)

東北学院5-2 田島

(宮城) (福島)

秋田商 6-1 専大北上

(秋田) (岩手)

八戸工 6-1 坂下

(青森) (福島)

宮古水産5-2 東北工大電

(岩手) 子工(宮城)

五城目 6-1 青森

(秋田) (青森)

光星学院7-0 経法大付

(青森)

秋田商 5-2 東北学院

八戸工 6-1 宮古水産

五城目 4-3 鶴岡工

(山形)

申し合わせ事項を確認

冠婚葬祭 推進会議で第2回会合

五城目町冠婚葬祭合理化推進会議では、二月十九日、町民センターで二回目の会合を開き、仏事や結婚披露宴などの合理化についての申し合わせ事項（五城目町冠婚葬祭合理化推進事項）を確認。この申し合わせ事項を町内全域にPRし、運動の推進をはかることにしました。

冠婚葬祭合理化推進会議の委員は、社会教育や公民館、農協、商工会、町内会長会など各種団体の代表二十六人で会長は中村清次郎氏。事務局は五城目町公民館に置かれています。また、第一回会合は一月に開かれ、結婚披露宴に



披露宴の料理の見本を検討する皆さん



会費制披露宴の料理の見本
(上：町民センター、下：農協)

「申し合わせ事項」は次のとおりです。
▽結婚披露宴について
(1) 結婚披露はできるだけ「会費制」で（町民センターでは八千円から、農協では八千円で行っている）

(2) 病氣見舞は二千円以内とし、そのお返しはやめる
(3) 引き出物を出さないようにし、やむを得ない場合でも一品とし、千円から二千円程度のものに
▽仏事について
(1) 葬儀の香典は親戚で一万円、一般会葬者で二千円以内に
(2) 法要等の料理は手作りの料理とし最少限の経費でまかない、どうしても仕出し料理の場合は五千円程度のもに
(3) 葬儀の引き出物はやめる
(4) 火葬場でのお返しは絶対やめる
(5) 忌明けまでのまかないは簡素に
(6) 祭壇は寺や地域にあるガキ板などで間に合わせる
(7) 香典返しはやめる
▽その他
(1) 棟上げなど祝いの酒は一升到
(2) 病氣見舞は二千円以内とし、そのお返しはやめる

から披露宴の料理の見本が提示されました。この見本は八千円の会費制で行った場合で、農協三千五百円、町民センター三千六百円の料理。委員からは「この料理でも全部食べ切れないし、十分である」との感想があいついで出されました。

(2) やむを得ず会費制以外で行う場合は結婚披露宴の御祝儀は一万円（親戚を除く）程度に
(3) 引き出物を出さないようにし、やむを得ない場合でも一品とし、千円から二千円程度のものに
▽仏事について
(1) 葬儀の香典は親戚で一万円、一般会葬者で二千円以内に
(2) 法要等の料理は手作りの料理とし最少限の経費でまかない、どうしても仕出し料理の場合は五千円程度のもに
(3) 葬儀の引き出物はやめる
(4) 火葬場でのお返しは絶対やめる
(5) 忌明けまでのまかないは簡素に
(6) 祭壇は寺や地域にあるガキ板などで間に合わせる
(7) 香典返しはやめる
▽その他
(1) 棟上げなど祝いの酒は一升到
(2) 病氣見舞は二千円以内とし、そのお返しはやめる

議会形式で町政学ぶ 青年会員20人が議員に

青年議会



本会議は役場正庁で開かれました

町内の青年たちが議会形式で政治学習を行う五城目町青年議会は、二月二日、午前九時から役場正庁で開かれました。

五城目町連合青年会（会長・石井勝義）が主催するこの青年議会は、青年の町政学習の場として青年の意見を町政に反映させること、青年の政治意識の高揚を図ることを目的として毎年開かれており、今年で十九回を数えました。

青年議員は、五城目町連合青年会から選ばれた二十人。町当局からは、町長、助役をはじめ部室課長が出席しました。本会議では、猿田文男さん

（樋口）を議長に、町長の施政説明、二議員による一般質問が行われました。
佐藤智さん（西野）は、小・中学校の部活動、ゴミ処理問題、姉妹都市提携、青年会館建設について質問。また、越高孝雄さん（水沢）は、企業誘致と観光について、町当局の意見を求めたのに対して、町長自らこれらの答弁にあたりました。
午後からは、部室課長を交えて総務、文教社会、産業、建設の四委員会が、議会の委員会室を利用して開かれ、青年たちは日ごろの調査、研究に基づいて意見を交換し合いました。

町内の話題

現場の先生招いて意見交換

紀久栄町町内会

紀久栄町町内会（会長・金子光吉）では、二月十八日午後七時半から同町内会の集会所に内川小学校の小玉正文先生を招いて、子供の教育について考える会を開きました。

これは、現場の教師と直接ひざを交えて、教育に関するいろいろな問題を話し合おうというもので、同町内会の子供会の父兄二十人ちかくが参加しました。

最初、小玉先生が、現場の教師の立場から、また長年教育にたずさわってきた体験をもとに、いじめの実体、家庭が



小玉先生（中央）の講話を聞く父兄の皆さん

子供に及ぼす影響などについて語りました。その後、小玉先生を助言者役をお願いして、小学校の課外活動のあり方などについて、それぞれの意見を交換しあいました。

設立15周年記念し大会開催

バレーボール協会

五城目町バレーボール協会（会長・伊藤義男）は、協会設立十五周年を記念し、二月十一日、広域体育館で記念式典と記念大会を開催しました。同協会は、昭和四十六年三月に発足。九人制バレーボールや家庭バレーボール大会の開催、全国実業団バレーボールリーグ五城目大会の招致など、町内バレーボールの普及に大きく貢献してきました。

競技開始前に行われた記念式典では、協会設立当時から前年度まで会長を務められた宮川庄太郎さん（帝釈寺）と、同じく事務局長を務められた斉藤喜代治さん（館越）に協会から感謝状が贈られました。記念大会の結果は次のとおりです。

- ▽九人制の部
- 一位 五城目町役場A
- 二位 五城目町役場B
- 三位 五城目町農協
- ▽家庭バレーの部
- 一位 八田チーム

館越橋付近に

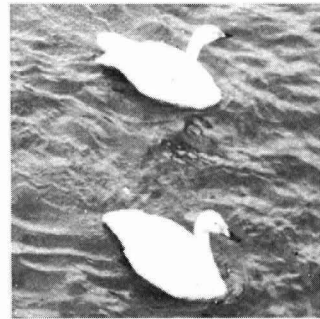
白鳥のつがい

二位 館越チーム
三位 小川口チーム
一羽 鳥獣センターから保護

館越橋付近の馬場目川で、つがいの白鳥がいつも泳いでおり、付近の人たちの話題になっていきます。

この付近で泳いでいるのが発見されたのは、二月の初めごろ。付近の人たちが時折エサを与えており、今ではすっかり人になれ、橋を訪れる人がいると橋の下に寄ってくるほどです。

実は、つがいのうちの一羽は、岩野の鳥獣保護センターから逃げた白鳥で飛ぶことができません。もう一羽は自然の白鳥ですが、いつもなかなか泳いでおり、鳥獣保護センターでは、もう少し様子を見ることがしています。



館越橋の下を泳ぐつがいの白鳥



親と子の健康な歯（DVS）をめざして

注目を集めた本町の

健康な歯づくり運動

五城目第一中学校

渡部

栄子（養護教諭）

昨年十一月、異国情緒漂う長崎県において、第三十五回全国学校保健研究大会が開催され、学校保健に携わる一人として参加する機会に恵まれました。全国各地から四千名近くの参加者のもと、「健康で活力に満ちた心豊かな子どもの育成をめざして」をテーマに、各分野にわたって活発な研究討議が行われました。その中の課題別研究では「歯の健康を守る教育のあり方」について、学校・家庭・地域がどのように連携したらよいのか、小・中・高校の各立場から実践発表がなされました。

幸い本町でも三年前からむし歯予防啓発運動の地域指定を受けていることから、中学校推進校の立場から、これまでの本校における取り組みと、全町あげて取り組んできた健康な歯づくり運動の成果の一端を紹介することが出来ました。学校教育、社会教育を中心にし

て町の教育機能をフルに活動させながら地域ぐるみで取り組んできた健康な歯づくり運動は、他に例をみない特色ある運動として、参加者の注目を集めました。これまでのむし歯予防活動は学校における教育指導が中心でしたが、むし歯の予防効果を高めるためには、家庭での習慣づくりが不可欠であり、父母の意識変革をめざした活動が必要とされてきました。このことから本町では学校を地域啓発の窓口にしなが、子ども達やPTA、公民館等の積極的な活動を通して意識の高揚に努め、学校から家庭、家庭から地域へ、この運動の輪を広げていくことに努めました。そして単なる家族歯みがき運動としてではなく、日常の食生活全体を見直す運動として取り組むことができたことは、大きな成果であったと思います。歯をみがく行為は、同じことを何回も繰り返し行う

ことであり、そのためには根気がいり、自然、力も心もこもってきます。歯みがきは、意識や行動面に変化を与え、「生活のリズムを変える」「意欲がまん強さ、粘り強さが身につく」「親子の対話がふえる」「表情が生きて生きとしてくる」といったような、教育的にも注目すべき成果があげられています。まさに「歯をみがくことは、教育をみがくことにつながる」とは、このことではないでしょうか。

「歯は健康の窓口」といわれますが、歯の健康づくりが心身の健康づくりにつながっていくことになるのです。

本町の健康な歯づくり運動が生涯にわたる地域健康づくりの運動として、今後継続推進させていくことが必要だと思っています。

五城目町親と子の健康な歯づくり運動推進委員会

いそのめ風土記

23

五城目の交通の発達(三)

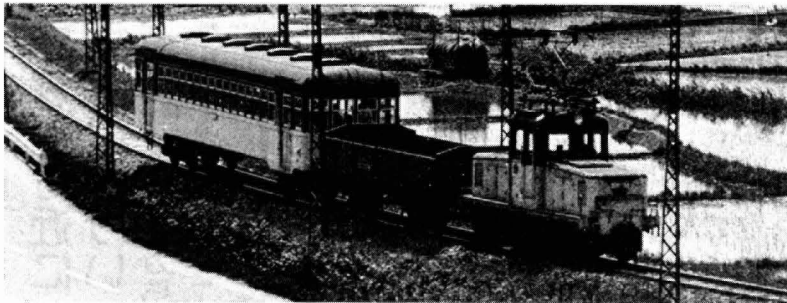
五城目軌道の開設

明治三十五年(一九〇二)八月一日、奥羽本線の青森、一日市間が連結し、同年十月二十一日には一日市、秋田間も開通し、同本線も文字どおり軌道に乗ってきた。そして鉄道の町内通過には懐疑的で一致して誘致運動を展開できなかった当町でも、この時点では大いに認識がかわり、今度は一日市の駅名を「五城目駅」と命名すべきだとの声が高まった。これを受けて町当局も鉄道省にこの旨を陳情に及び、その効あつて、一日市の駅は「五城目駅」となり、当町の人々の願いは達せられた。しかしこれは、いわば有名無実等に等しく、実利的メリットは皆無であった。なにしろ、南秋随一の産業の町である。いざ開通してみるとその利便さはこれまでの比ではない。人々は町を挙げて誘致できなかったことを悔み始める。特に木材関連産業に与えたインパクトは想像以上のものがあった。

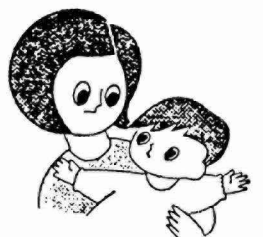
はたして大正三年(一九一四)あたりから「一米線」(一日市一米内沢間)の誘致運動がおこり、大正五年(一九一六)の船川線開通にも刺激されて、鉄道敷設運動はかつてなかったほどの盛り上がりを見せた。しかし時はすでにおそかった。第一次大戦・シベリア出兵、戦後恐慌とめまぐるしく変化する厳しい国の内外の情勢は、その実現をはばんだのである。

こうした中で生まれてきたのが五城目軌道構想である。この構想はこれまでの鉄道誘致とは違って、町内と本線との連絡ルートの確立を企図し、地方鉄道法による一日市―五城目間の軽便鉄道の設立を骨子とする実現性に富んだものであった。「世界文明ノ潮流ハ常ニ運輸交通ノ利便ニ依リテ支配セラル」と格調高くはじまる「五城目軌道敷設趣意書」は、当時の人々の熱気を伝えるに充分である。かくて、総資本二十万円、

株主七十六人からなる五城目軌道株式会社の設立となった。大正十一年(一九二二)四月十七日、アメリカ製森林軌道用ガソリン機関車が到着、めでたく開業の運びにこぎつけたのである。駅は本線の「五城目駅」に対して「東五城目駅」と命名された。いよいよ輸送面での近代化が始まったのである。(県立博物館 渡部紘一)



昭和四十年代の五城目軌道：伊藤鉄郎氏撮影



お誕生

おめでとう

ございます

(敬称略)

山田正行	長男	12月24日	北嶋カツヨ	87歳	古川町	1月13日
正道・洋子	広ヶ野	12月26日	一関フヂエ	85歳	築地町	1月17日
工藤麻衣子	長女	12月26日	高沢直之助	84歳	東磯ノ目町	1月18日
高明・ひとみ	浅見内一區	12月27日	北嶋専之助	73歳	野田	1月18日
小籠星矢	長男	12月27日	石井チヨ	92歳	黒土一區	1月19日
薫・咲子	大川四區	1月15日				
佐藤理絵	二女	1月15日				
清美・笑美子	谷地中	1月22日				
斉藤泰之	長男	1月22日				
二歳・郁子	富田					

おくやみ
申し上げます
(敬称略)

沢田石ハル	90歳	湯ノ又一區	1月24日
加藤勇太郎	78歳	富田	1月25日
越高憲吉	46歳	紀久栄町	1月27日

町の人口と世帯

2月1日現在

人口	15,582人	(-33)
(男)	7,442人	(-22)
(女)	8,140人	(-11)
世帯	3,936世帯	(-4)

※ ()内は前月との比較

飲酒運転はモラルの問題

常に、心身ともに万全の状態であるハンドルの握る――ドライバ―である以上、必ず守らなければならない基本的なモラルの一つです。道路交通法は「何人も酒気を帯びて車両等(自動車、原動機付自転車など)を運転してはならない」と定めています。そうと知りながら、酒を飲んで車を運転する

ことは、最も恥すべき行動と言えます。飲酒運転は、ほかの犯罪に比べて執行猶予が少なく、実刑、厳罰主義がとられています。飲酒運転で罰せられるのはドライバ―だけではなく、酒を飲んでいる人などが、酒を飲んでいて人などの車の運転を強要すると処罰されます。また、ドライバ―に酒を勧めることも禁止されています。飲酒運転をなくすためには、家庭や職場、地域社会などで、「飲んだら乗らな

い、乗るなら飲まない、飲ませない」という鉄則を確立することです。もちろん、それらにも増して大切なのは「私は絶対に飲酒運転はしない」というドライバ―の自覚であることは、言うまでもありません。

